

【目指す学校像】みんなで どんなときも りかいしあえる学校

【目指す児童像】かしこい子 やさしい子 たくましい子

みどりが丘小だよ

令和5年2月15日発行
鹿沼市立みどりが丘小学校



学校
ホームページ



通常の教育活動に向けて

テレビを眺めていたら、「対策を講じた上でマスクを外す生活を推奨する」といった報道が盛んに流れていました。現在、第8波が減少傾向に転じ、国は新型コロナウイルス感染に関して、感染症法上の位置づけを、5月8日に季節性インフルエンザと同じ第2類から第5類へと引き下げる方針を固めました。また、新聞では、これに先立ち、小中学校でマスク着用を緩和する案が政府内に浮上しているという報道がなされております。

教育現場でどんな対応をとるかについては、国から県へ、県から市へ、そして学校は鹿沼市教育委員会からの指示を受けて対策を考えることになるため、すぐにとということにはなりません。

そのような中で、現状を踏まえながら感染防止対策を講じ、通常の教育活動に近づけるにはどうすればよいか、試行錯誤の日々が続いています。

まだまだこの状況が続くと思われ、臨機応変な対応を余儀なくされることも予想されます。

引き続き皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

学校評価結果から（後期）

2学期の教育活動について、児童・保護者アンケートや教職員自己評価をもとに振り返りを行い、改善策について検討しました。

【共通して高評価の項目】

～95%以上の評価～

- ・学校は楽しい
- ・先生は子供を大事にする
- ・授業はわかりやすい
- ・話を最後まで聞く
- ・友達と仲良く生活する
- ・手洗い、歯磨きをする
- ・安全に気をつける
- ・学校の様子を公開している
- ・誠意ある対応をしている
- ・行事などの工夫をしている
- ・安全確保に努めている

みどいっ子 アクションプログラム

考えよう 伝え合おう
笑顔であいさつ 自分から
元気に動いて、おいしく食べよう

*1学期と比較して、高評価の項目（95%以上）が増えました。特に「先生は子供たちを大事にしている」が99%となっており、上昇がみられたことをありがたく思います。課題としては、室内で過ごす機会が一層増え、読書よりもゲームやインターネットに興味を示しているようです。また、その影響が朝起きられず、朝食が十分に取っていない傾向が現れており、今後、学校と家庭が連携して、食育指導に取り組む必要があるようです。

【課題と思われる項目】

～90%未満の評価～

- ・たくさん本を読んでいる
- ・進んで発表する
- ・自主学習に取り組む
- ・外で元気に遊ぶ
- ・早寝・早起き・朝ご飯

【かしこい子部会】

- ・読書をする機会をより一層増やすとともに、親しみやすい本を購入していく。
- ・タブレットを使う宿題を少しずつ出すとともに、使い方のきまりを作成する。

【やさしい子部会】

- ・あいさつの日常指導やPTAとの連携を継続していく。
- ・コロナ禍で制約を受けていたピアサポート活動の積極的な推進を図る。

【たくましい子部会】

- ・フリータイムか仲良しタイムのどちらかは外で遊ぶように呼びかける。
- ・コロナの終息と並行してはみがき等の指導を徐々に増やしていく。

*これらの改善策については、次年度に向けた課題として、全校体制で取り組んでいきます。

生き生き教育活動

<5年金銭教育>～1. 16～



半田様を講師にお迎えして、お金にまつわる様々な話を伺いました。みんな、いつも以上に興味を持って話を聞いていました。

<1年食育指導>～1. 17～

栄養教諭の星野先生に來校いただき、体に必要な栄養について、分かりやすく教えていただきました。



お知らせ

～次年度の通常学級におけるクラス編成について～

現在の国の基準では、1学級35人編成となっております。本校は、多くの学年で70名前後の児童数のため、2クラスになるか、3クラスになるか、微妙なところです。来年度の通常学級の状況は、新1年生＝80名（3クラス） 新2年生＝71名（3クラス） 新3年生＝67名（2クラス） 新4年生＝77名（3クラス） 新5年生＝72名（3クラス） 新6年生＝50名（2クラス）となっていて、現在の1年生は今年度2クラスのため、次年度は3クラス編成のクラス替えを行うこととなります。なかなか落ち着かずに苦労するところではありますが、2クラス・3クラスどちらにも対応できるよう、準備したいと思います。

<校長のつぶやき>

～年齢とともに訪れる価値観の変化～

先日、28歳になる息子が、届いたはがきのため息をついていました。それは『結婚式の招待状』でした。1ヶ月に3つの結婚式に招待された息子が、なぜため息をつくかという、ご祝儀の負担があまりにも大きいのです。結婚式のご祝儀は約3万円とか。3件だと9万円。そして二次会の費用となると10万円以上の出費です。これは確かに若者にとっては経済危機を迎えることになります。何かうらやましい気持ちでぼんやり眺めていた私は、最近の自分のことを考えていました。葬儀への出費がなんと多いことか。参列する度に悲しい気持ちや寂しい気持ちになります。友人との会話でも、病気の話や年金の話など、楽しい話題になることはあまりありません。金額的にご香典は結婚式のご祝儀ほどの出費ではありませんが、いつも寂しい気持ちになって帰宅します。それよりも結婚式に参加して幸せをおすそ分けしてもらえた方がありがたい・・・。そんなことを考えながら、融資してあげたい気持ちで息子からの頼みを待っている私がいきました。でも、親父には借りを作らたくないらしく、妻に「ご祝儀袋に名前を書いておいて！」と頼みながら、密かに中身が入っていることを期待している息子でした。それよりも自分が結婚すれば、元が取れるのに・・・。そこには早く孫の顔が見たい自分がいました。

